

GUNMA



群馬の森林とともに歩む仕事

ぐんま森林・林業就業ナビ

Gunma Forest and Forestry Employment Navigator



林業はどんな仕事？



森林は、木材を生産するだけではなく、豊かな水を貯えたり、山崩れなどの自然災害を防いだり、野生動物の生息場所となったり、あるいは二酸化炭素を吸収・固定し、地球温暖化を防ぐ上でも大きな役割を果たしています。

これらの森林の役割は、多面的機能（公益的機能）と呼ばれ、私たちが生活する上でとても大切です。

この多面的機能を高度に発揮するためには、森林を適切に管理し、維持し続ける必要があります。

林業は、このような森林の機能を維持するために、森林を守り育てながら、木材を生産するととても大切な仕事です。

「親が植え、子が育て、孫が伐る」という言葉を聞いたことはありますか？

それぞれの世代が山や森林を管理し、次の世代へ引き継いでいく。

林業は、親子三代100年にわたるとても壮大で魅力的なプロジェクトです。

群馬県の森林の公益的機能の評価額



林業の現場作業【保育作業】（植えて・育てる）

地拵え



伐採後に林地に残された幹の先端部や枝、刈り払われた雑草木等を植栽しやすいように整理、配列する作業です。

植栽



苗木を林地に植える作業です。植え付ける作業は、主に春（4～5月）、秋（11月）に行われます。

下刈り



植栽した苗木の生育を妨げる雑草木を刈り払う作業です。雑草木の生長が旺盛な夏に行います。主に刈払機を使用します。

枝打ち



節のない良質材の生産を目的として、生枝をその付け根付近から除去する作業です。ハシゴに登り、手鋸や鉋で枝を落とします。

林業の現場作業【木材生産】（搬出間伐・主伐）

木材として利用が可能な大きさまで成長した立木は、伐採し山から搬出し、原木市場や製材工場へ運びます。

伐採作業



立木を切り倒す作業です。主にチェーンソーを使用します。地形条件が良い場所では、機械による伐採作業も可能です。

木寄作業



林地内に散在している伐倒木を作業しやすい場所まで集める作業です。機械やウィンチで木を集めます。

造材作業



伐倒した木の枝と梢を切り落とし、決められた長さの丸太を作る作業です。玉切り作業とも言います。

集材/運材作業



造材された丸太を集め、大型トラックに積み込みが可能な場所（土場）まで運ぶ作業です。丸太を掴む専用アームが付いた運材車をフォワーダと言います。

はい積作業



土場まで運ばれた丸太を、大型トラックに積み込むために、一時的に集積する作業です。丸太の長さ、太さや曲がりの有無により選別します。

森林の持つ公益的機能

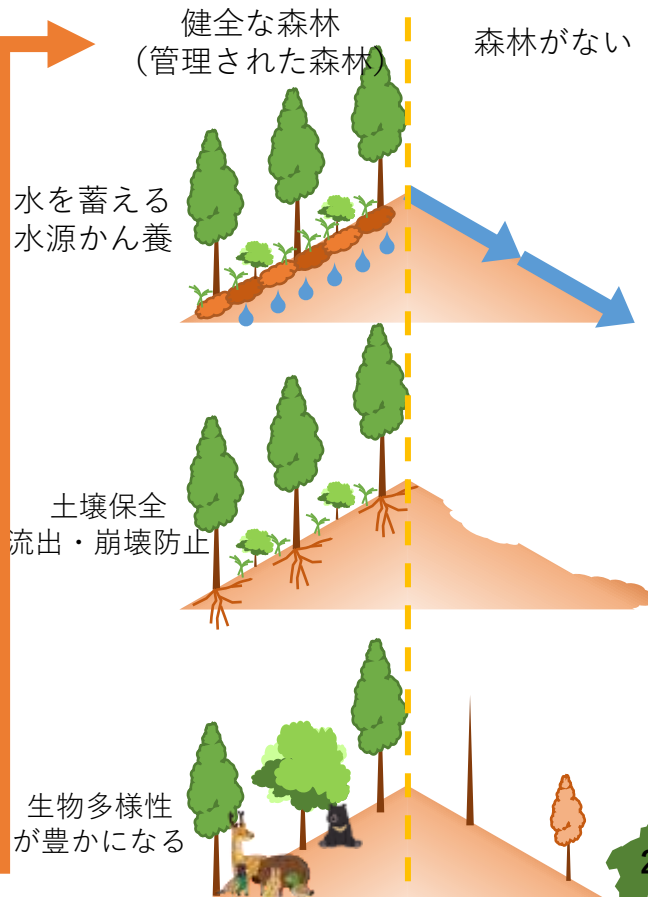
木を伐採し、森林を整備すると



木材を生産し収益を得ます

残った森林が健全に保たれます

公益的機能が高度に発揮されます



下刈り作業スタイル

目を保護するためのバイザー（防護網）・イヤマフ付きのヘルメットを装着し、あご紐をしっかり締めます。

呼子（笛）は、チェーンソーの伐倒時の合図等とても重要なアイテムです。

3点支持ができる肩掛けバンドを装着します。

下刈りは炎天下での作業になりますが、袖口が締まった長袖を着用します。ハチ、マダニ、ヤマビルなどの対策にもなります。

ズボンは、裾締まりのよいものの着用し、レッグプロテクターを装着します。

つま先が鋼製補強された安全靴や足袋、滑りにくいものを履きます。



伐倒作業スタイル

チェーンソーを使用した伐採作業では、安全装備の着用が必須となります。

目を保護するためのバイザー（防護網）・耳を保護するためのイヤマフ付きのヘルメットを装着し、あご紐をしっかり締めます。

振動障害を防ぐため、防振手袋をします。

防護ズボン（チェーンソーパンツ）やチャップスを着用します。

つま先が鋼製補強された安全ブーツや切創防止能力のあるチェーンソーブーツを履きます。

チェーンソーによる伐木作業では、下肢の切創防止用保護衣（防護ズボン（チェーンソーパンツ）やチャップス等）の着用が義務付けられています。

防護衣は、日本産業規格 JIS T 8125-2 (ISO 11393-2) に適合し、チェーンソーの回転速度に応じた切断防止性能（クラス1〔20 m/s〕以上）を有するものを使用する必要があります。



	資格名称	取得率
1位	刈払機取扱作業安全衛生教育	86.7%
2位	チェーンソーの特別教育	86.6%
3位	車両系建設機械運転技能講習	70.2%
4位	玉掛け技能講習	63.7%
5位	小型移動式クレーン運転技能講習	63.0%

※群馬県調査結果取りまとめ（令和3年度調査）

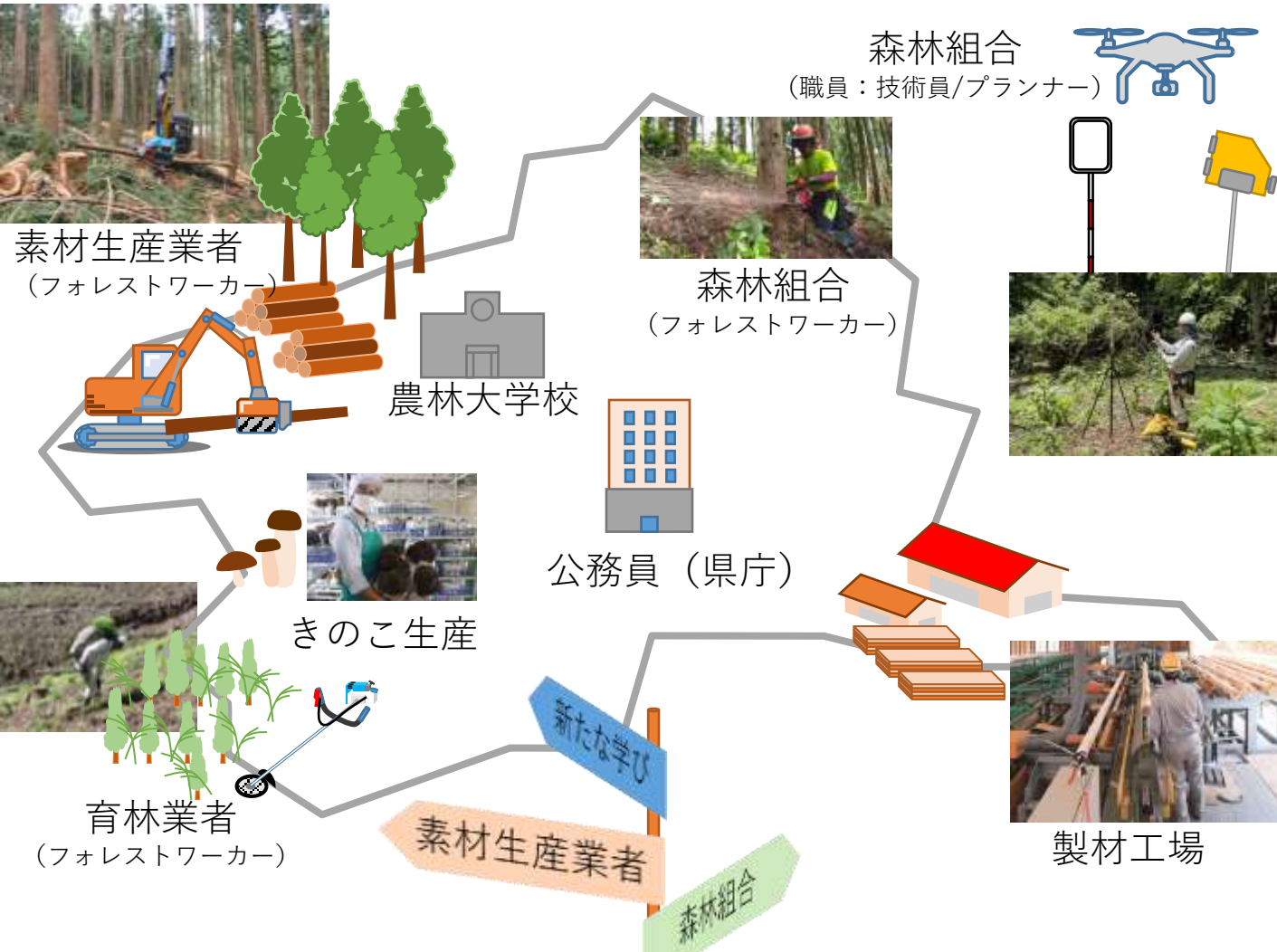
資格等（安全教育を含む）の取得支援について

- ☐ 緑の雇用
認定事業体に新規に雇用された者は、「緑の雇用」担い手確保支援事業により資格等の取得支援を受けることができます。
※FW1～FW3：フォレストワーカー1年目研修～3年目研修、FL：フォレストリーダー就業5年以上
- ☐ 林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部
技能講習や特別教育を受講できます。（資格取得の支援ではありません）

緑の雇用について
P.21へ

緑の雇用で取得できる資格
林業・木材製造業労働災害防止協会
群馬県支部が主催する資格

普通救命講習	○ FW1	
技能資格ではありませんが、消防署員等から指導を受け心肺蘇生、自動体外式除細動器（AED）の使用方法、窒息の手当、止血の方法などを学ぶ講習です。受講することにより、現場で事故等が発生した場合、応急処置を執ることができます。		
刈払機取扱作業安全衛生教育	○ FW1	○
この教育を修了すれば刈払機（草刈機）を使用した山林での下草刈り作業に従事することができます。		
荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育	○ FW2	
この教育を修了すればフォークリフト、移動式クレーン等の荷役運搬機械等によるはい作業に従事することができます。はい作業とは荷物を積んだり降ろしたりする作業です。		
伐木等の業務に係る特別教育	○ FW1	○
この教育を修了すれば山林でのチェーンソーを使用した立木伐採等の作業に従事することができます。		
機械集材装置の運転業務に係る特別教育	○ FW2	
この教育を修了すれば集材機等を使用した原木（伐採木、丸太）又は薪炭材を運搬する運転業務に従事することができます。		
伐木等機械の運転の業務に係る特別教育	○ FW3	○
この教育を修了すればハーベスタ、プロセッサ、グラップル等の機械を使用した立木の伐採、造材、集積作業を行う運転業務に従事することができます。		
走行集材機械の運転の業務に係る特別教育	○ FW2	○
この教育を修了すればフォワーダ、集材車等の機械を使用した原木の積載及び車両の走行により運搬する作業を行う運転の業務に従事することができます。		
簡易架線集材装置等の運転業務に係る特別教育	○ FW3	○
この教育を修了すればタワーヤード、スイングヤード等の機械を使用して原木等の一部を地面に接した状態で吊り上げて運搬する作業を行う運転の業務に従事することができます。		
小型移動式クレーン運転技能講習	○ FW1	
この講習を修了すれば吊り上げ荷重5t未満の移動式クレーン（クレーン付きトラック等）を使用した木材等の積み込み作業を行う業務に従事することができます。（補足）公道の運転は除く		
玉掛け技能講習	○ FW1	
この講習を修了すればクレーン等を使用した吊り具を用いて行う木材等の荷掛け及び荷外し作業を行う業務に従事することができます。		
車両系建設機械（整地等）運転技能講習	○ FW2	
この講習を修了すれば車両系建設機械（バックホウ等）を運転し作業道等の開設作業に従事することができます。（補足）公道の運転は除く		
不整地運搬車運転技能講習	○ FW2	
この講習を修了すれば不整地運搬車を運転し作業道等の開設作業に伴う土砂運搬及び資材運搬作業に従事することができます。（補足）公道の運転は除く		
地山掘削及び土止め支保工作業主任者講習	○ FL	
この講習を修了すれば2メートル以上の高さとなる地山の掘削作業を行うための作業道等作設現場において掘削作業・土止めの安全対策・指導などを行う業務に従事することができます。（受講条件として作業経験が必要となります）		
はい作業主任者技能講習	○ FL	○
この講習を修了すれば、高さが2メートル以上となるはい付け又ははいくずし作業を行う必要がある現場において、はい作業の安全対策・指導などを行う業務に従事することができます。（受講条件として作業経験が必要となります）		



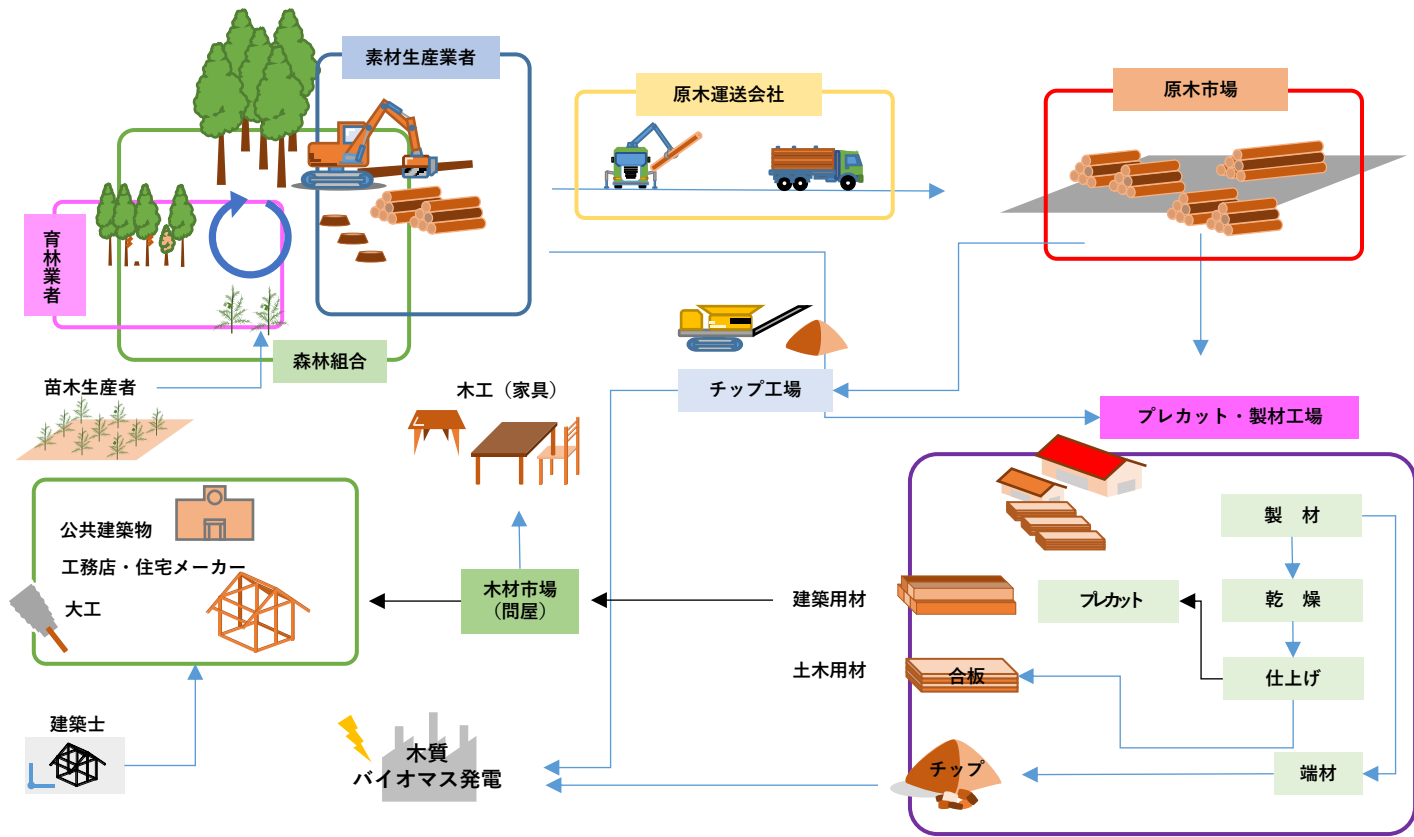
林業経営体

(森林組合/素材生産業者/育林業者)
森林を造成するための植栽や植えた後の手入れ(保育)、立木の伐採、素材(丸太)の生産など林業に関する業務を行う組織です。

- 森林組合
森林組合法に基づき、森林を所有する者が共同で出資して設立した共同組合です。群馬県内には15組合があります。
- 協同組合、協業組合
中小企業協同組合法に基づき、林業に関する業務を行う者が設立した協同組合、協業組合です。
- 法人(会社)
林業に関する業務を行う株式会社(有限会社)等です。
- 個人事業主
法人を設立せずに、個人で林業に関する業務を行う者です。従業員を雇用することもできます。小規模の経営が一般的です。
- 一人親方
人を雇用せず一人又は家族と林業の業務を行う者です。

公務員

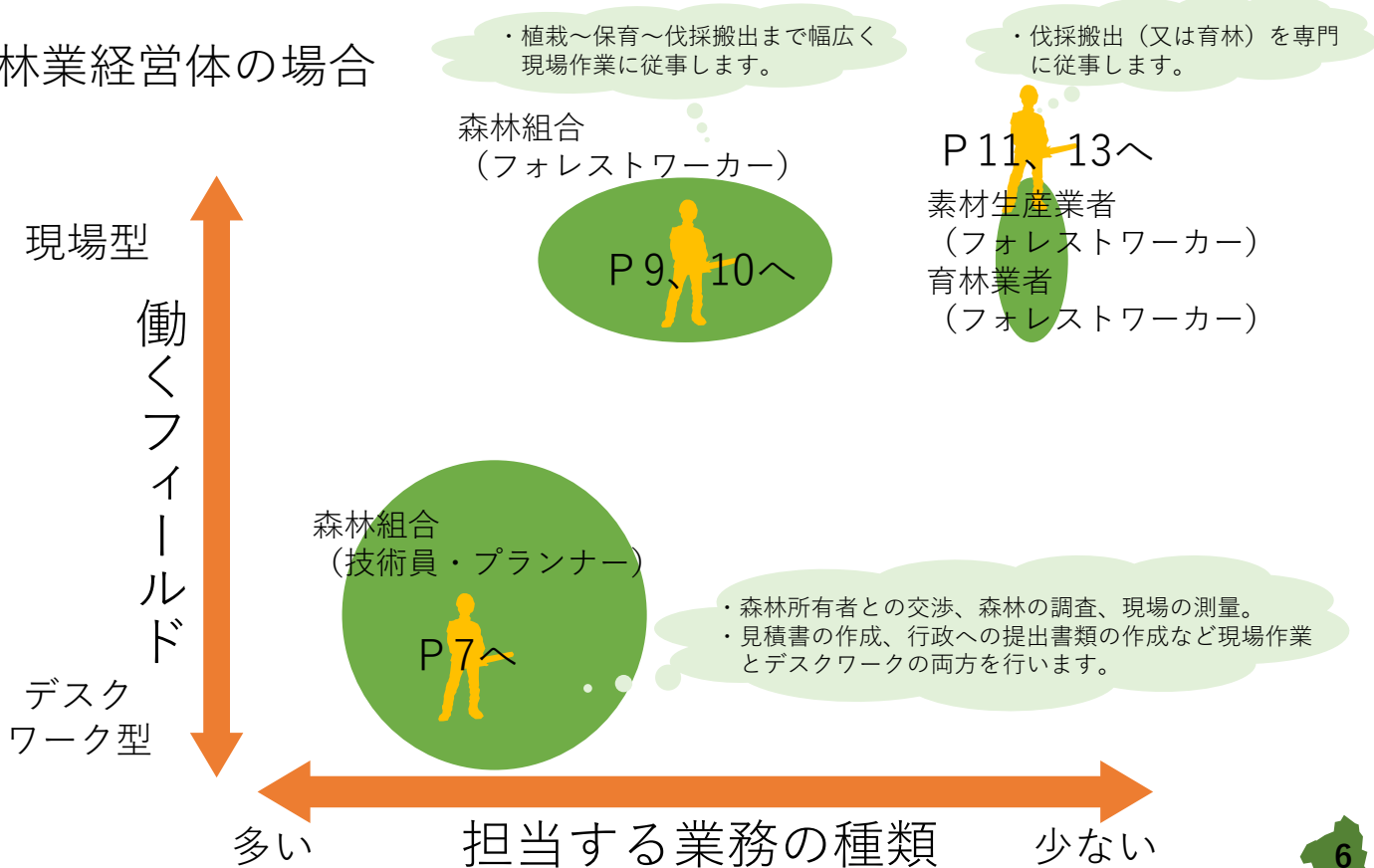
- 群馬県庁(森林職)
森林・林業に関する専門職である「森林職」として従事します。民有林を対象とし、群馬県の豊かな森林環境の保全や整備、林業の産業振興等の業務に携わります。
- 市町村職員
一般行政職として、森林・林業に関する業務に従事します。森林・林業に限らず地域と密接に関わり幅広い業務に携わります。
- 林野庁(関東森林管理局)
国家公務員として、日本の国土の7割を占める森林を「守り、使い、育て、後世に残す」ための業務に携わります。関東地方および福島県、新潟県、山梨県、静岡県の国有林を管理する関東森林管理局は前橋市岩神町に所在しています。



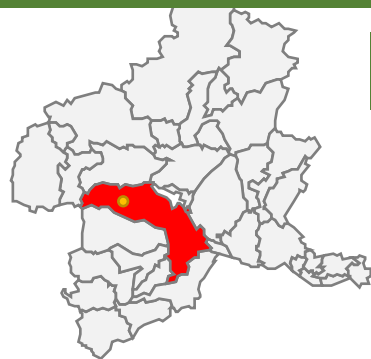
森林・林業に係る仕事マトリクス

森林・林業に係る仕事（職種）はとても幅広く、たくさんの業務があります。それぞれの仕事の業務特性を「働くフィールド」、「担当する業務の種類」によって分類しました。

林業経営体の場合



烏川流域森林組合



烏川流域森林組合

事業所は高崎市倉渕町。高崎市（旧吉井町を除く）内の約8,400haを管轄。

認定事業体。

職員数は8名、現場作業員は14名。

年間素材生産量は約8,400m³。

（※面積、人数、素材生産量はR6.4.1時点）

PROFILE

I. K. さん

（就業9年目）

北海道出身。都内の農業系大学へ進学、同大学の大学院農学研究科林学専攻を修了し、平成29年4月に烏川流域森林組合へ就職。令和5年度からは認定森林施業プランナーとして活躍。



倉渕ライフ（移住促進サイト）内の
烏川流域森林組合紹介動画

【働किっかけ】

父親が素材生産や製材を事業とする林家に生まれたI.K.さん。父親が会社を経営、家族経営だったこともあり、林業を生活の一部に感じながら育った。幼いながらに自分自身も林業・木材産業に関わっていきたいと考えるようになった。

大学進学にあたり、父親から東京の大学で林学を学んできたかどうかのアドバイスを受け、都内の農業系大学に進学を決めた。

大学では、父親が経営する製材所の持続的な経営について研究する傍ら、複数の都道府県の林業を視察し、森林経営学をメインに学んだ。

その後、大学で研究してきたことをさらに発展させたいとの思いで、大学院へ進学。大学院では、「木製パレット部材生産における製材所の経営展開と方向性」を研究テーマとして研究を進めた。

就職を考えたとき、まず先に浮かんだのは父親の会社のことだった。大学・大学院で研究してきた森林経営学等を家業に活かせる時がきたと、北海道に戻り、父親の経営する会社で働こうと決めていた。

しかし、父親からの答えは厳しいもので、「会社の事業規模・将来性を考慮したときに息子を後継者として実家に戻すのは難しい」というものであった。

それでも林業への想いは変わらず、大学・大学院で研究したことを活かせる就職先を探した。偶然、烏川流域森林組合が職員を募集していた。群馬県は学生時代に実習等で何度も訪れており、全く馴染みのない地域ではなかったため、採用試験を受けることを決めた。

【現在の仕事】

現在は、烏川流域森林組合で主に森林経営計画の策定を担当し、日々、森林所有者との交渉や承諾の得られた森林の調査を行っている。

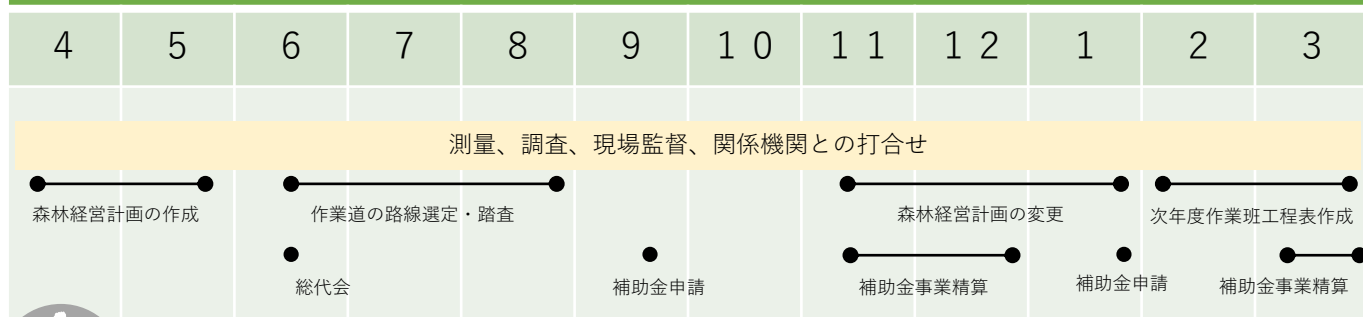
【やりがい】

やりがいについて伺うと、「所有者の方が大切にされている森林に手を加えてもらう交渉なので、やはり今でも気を遣います。でも、所有者の方から『山を任せろ』と言ってもらえたときはやりがいを感じることができます。」と嬉しそうに答えたのが印象的だった。

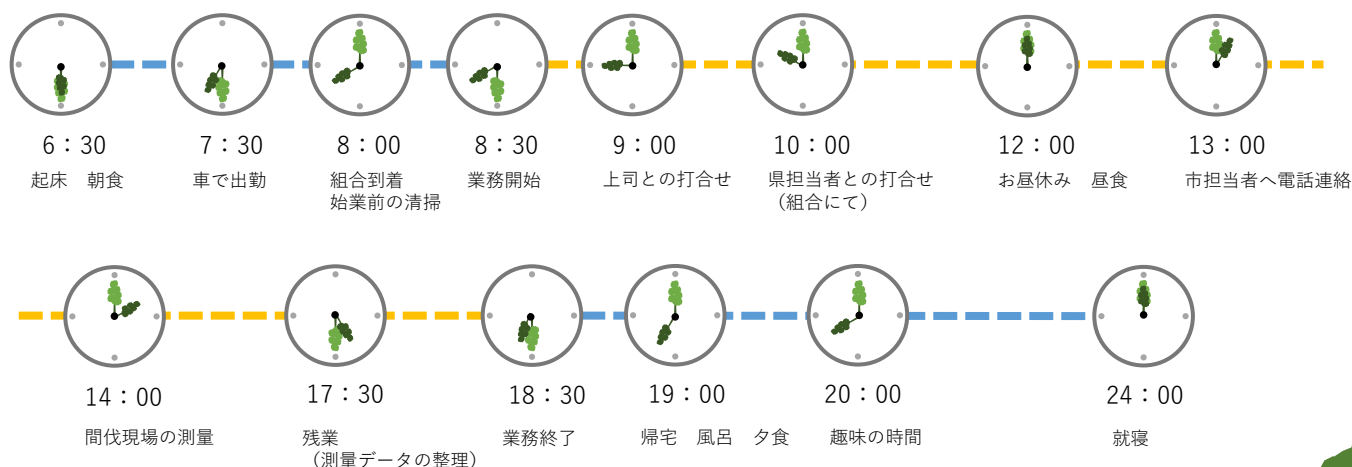
今でも実家への想いは変わっていない。「群馬県と北海道でフィールドは違うが、父親に負けないように頑張っていきたい。」と決意を語ってくれた。



年間のスケジュール



ある日の一日のスケジュール



桐生広域森林組合



桐生広域森林組合

事業所は桐生市相生町。桐生市（黒保根町を除く）及びみどり市大間々町内の約8,300haを管轄。認定事業体。職員数は6名、現場作業員は11名。年間素材生産量は約4,000m³。（※面積、人数、素材生産量はR6.4.1時点）



PROFILE

T. H. さん
（就業6年目）

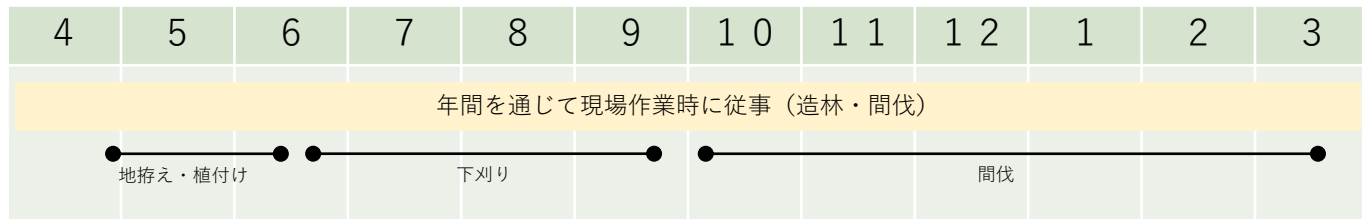
太田市出身。42歳の時にぐんま林業就業支援研修を受講し、その翌年、令和2年4月に桐生広域森林組合へ就職。現在は、フォレストワーカーとして現場作業に従事（「緑の雇用」修了生）。趣味は、サンパ・ゴルフ。



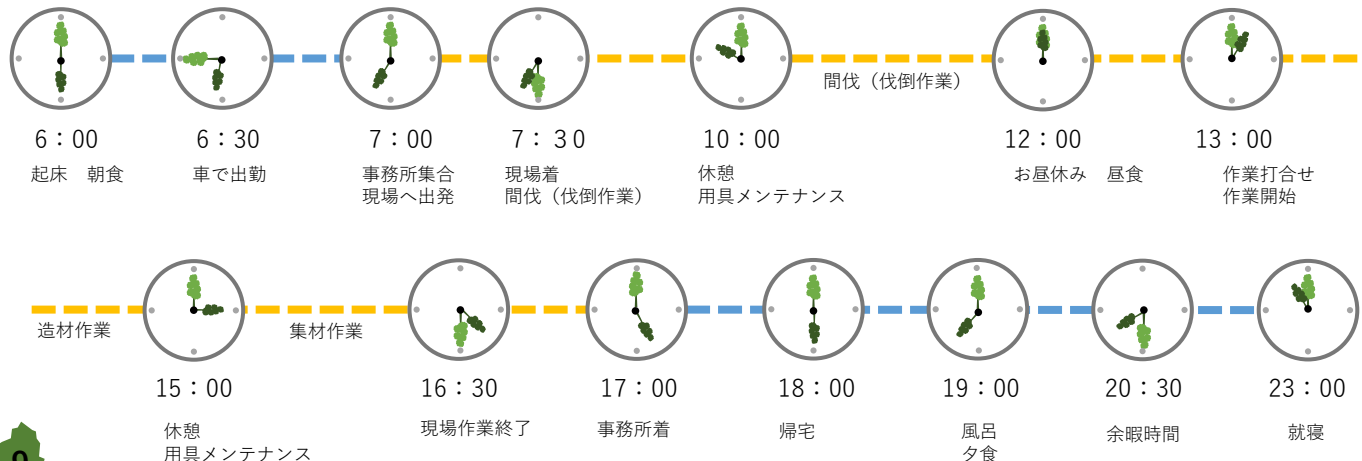
フォレストワーカー
インタビュー動画



年間のスケジュール



ある日の一日のスケジュール



わたらせ森林組合



わたらせ森林組合

事業所はみどり市東町。桐生市黒保根町及びみどり市東町内の約13,500haを管轄。認定事業体。職員数は7名、山林課職員は10名。年間素材生産量は約5,400m³。（※面積、人数、素材生産量はR6.4.1時点）

PROFILE

K. M. さん

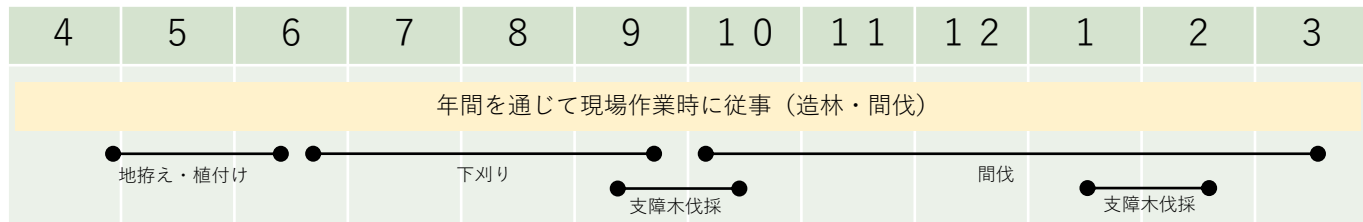
（就業7年目）

高崎市出身。東京で民間企業のSEとして働いていたが、平成30年にぐんま林業学校を受講し、その翌年、平成31年4月にわたらせ森林組合へ就職。現在は、山林課に所属し、フォレストワーカーとして現場作業に従事（「緑の雇用」修了生）。

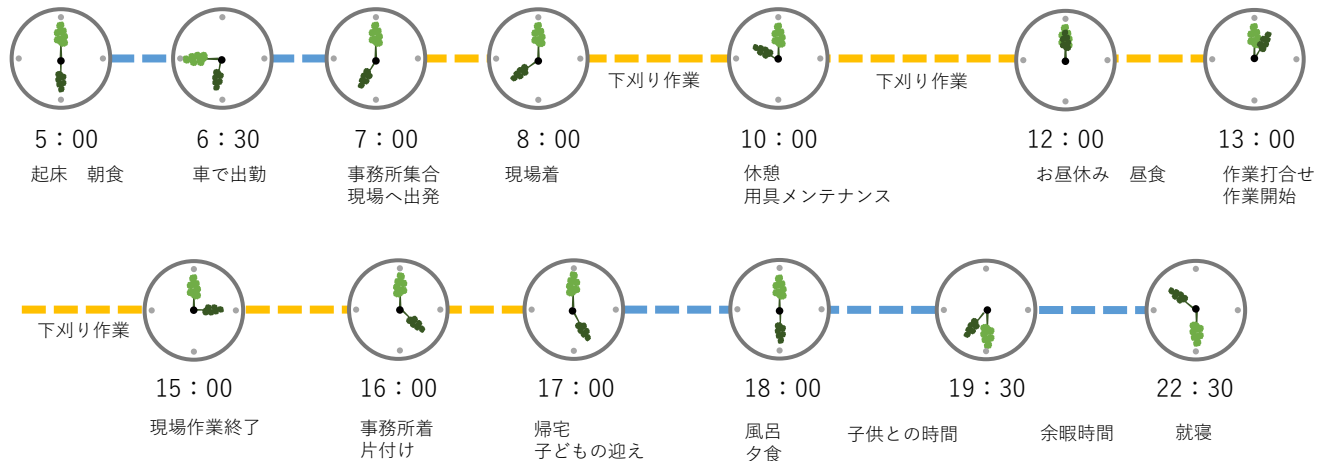
フォレストワーカー
インタビュー動画



年間のスケジュール



ある日の一日のスケジュール





(株) 須藤木材



(株) 須藤木材 (高崎市)

事業所は高崎市箕郷町。H29年度に法人化し株式会社となる。従業員は4名。主な活動地域は高崎市、安中市、藤岡市。国有林の間伐事業も手がけ、年間素材生産量は約5,000m³。

PROFILE

S. K. さん

(就業8年目)

高崎市出身。都内の農業系大学を卒業後、平成30年4月に父親が経営する(株)須藤木材へ就職。「緑の雇用」修了生。

【働くきっかけ】

父親が地元群馬県高崎市で素材生産業を営んでいたS.K.さん。幼少期から父親が動かす林業機械をごく自然に目の当たりにし、木材や林業は身近なものとして育った。

活発で、体を動かすのが大好きで、学生時代はラグビーに熱中し、楯円球を追い続けた。

進学した都内の農業系大学では、実際にフィールド(演習林)でチェーンソーや重機操作ができる林業工学研究室に所属した。テーマを、地元群馬県での「小根山森林公園における『高性能林業機械による伐採作業』」として研究を行った。

卒業後の進路について考えたときに浮かんだのは、実家の会社のことだった。しかし、卒業後直ぐに家業を継ぐべきか、一度他の会社へ就職し、林業について学ぶべきか悩んだと言う。

しかし、同時期に父親が会社を法人化し、事業を拡大することを決めたことを機に、少しでも力になればと、家業を継ぐことを決意した。

家業を継ぐか迷ったこともあったが、林業工学研究室に所属を決めたこと、研究テーマを地元群馬県にしたこと、父親の会社の法人化が同時期であったこと等、やはり家業を継ぐのは必然のことだったのかもしれないと後継者の顔を見せた。

【現在の仕事】

会社では、国有林の間伐事業から、森林組合の下請け、個人からの伐採の依頼など、様々な伐採業務に携わっている。決して大きな会社とはいえないため、S.K.さんも就業1年目から大きな役割を任されてきた。

昨年度には、3年間の緑の雇用の研修期間を終了し、現在は、フォレストワーカーとして、実際の伐採作業に携わりながら、現場の段取りなど一部現場管理も行っている。

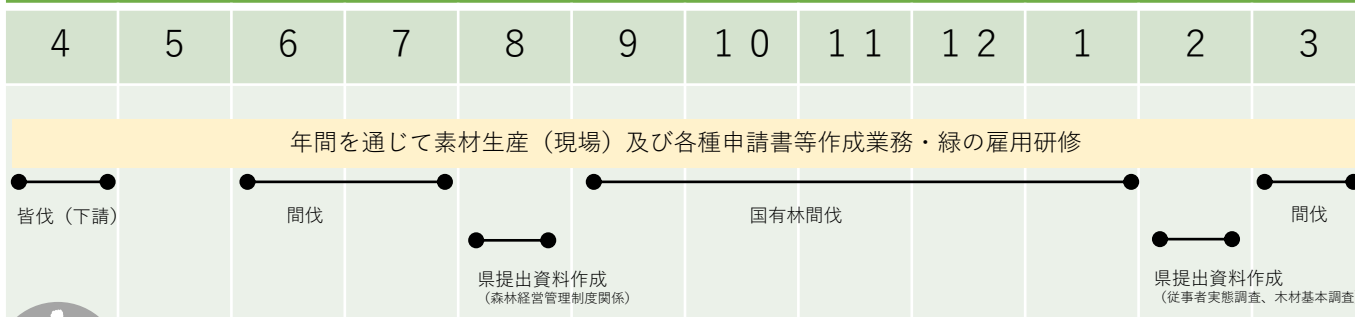
また、会社経営の補助として、国や県、市町村へ提出するための各種申請書作成など、事務作業も率先して取り組んでいる。

【やりがい】

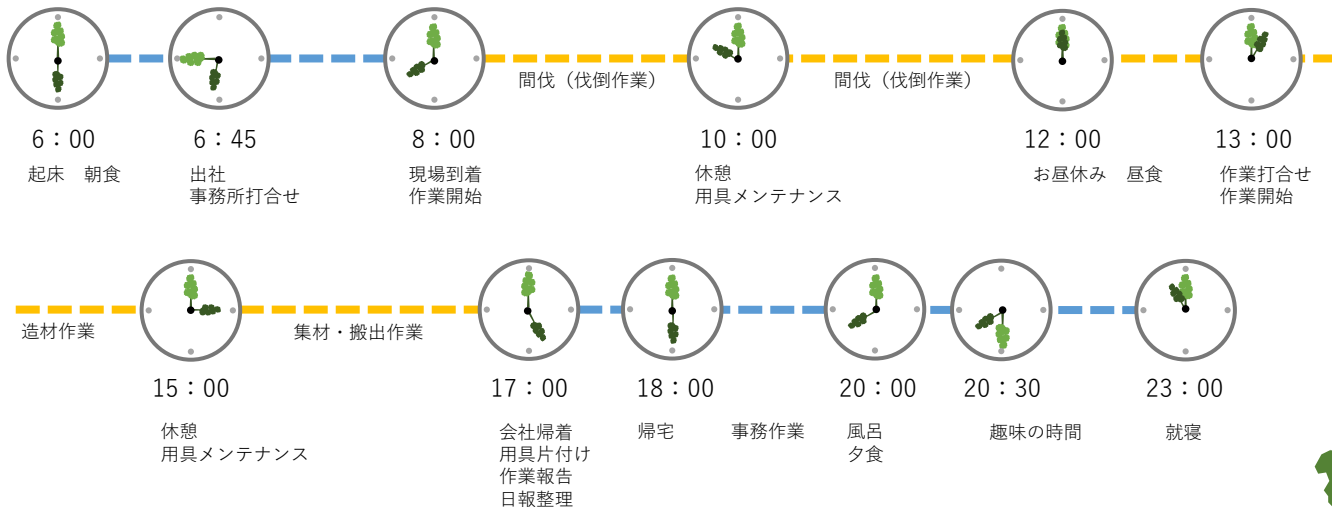
やりがいについて伺うと、「現場での作業と会社経営の両立に苦慮することもあるが、実際に仕事の依頼を受けて、その仕事が終わった時に、依頼主の所有者の方から『須藤木材さんに任せて良かった、丁寧で仕事が早い』と言われた時はとてもやりがいを感じます。」と笑顔で答えてくれた。



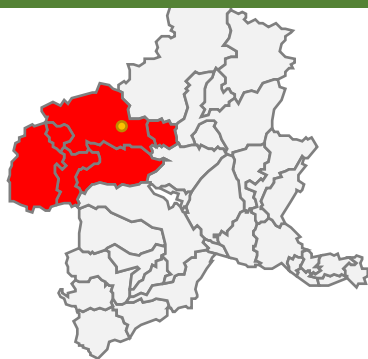
年間のスケジュール



ある日の一日のスケジュール



四万林業協業組合



四万林業協業組合 (中之条町)

S40設立。主に国有林の伐採業務を主体とした、素材生産業者。認定事業体。主な活動地域は吾妻流域。従業員は15名（うち現場作業員は12名）。高性能林業機械（プロセッサ、スイングヤーダ、フォワーダ）による作業システムにより年間素材生産量は約16,700m³。（R6決算）



PROFILE

F. Y. さん
(就業 1 1 年目)

福島県出身。東京の民間企業で働くも、山仕事へのあこがれから、群馬県へ移住。長野原町（北軽井沢）のログハウスを作る会社を経て、39才の時に、林業へ転職、現在の四万林業協業組合へ就職。「緑の雇用」修了生。現在フォレストリーダー。趣味はつり、登山。



インタビュー動画
※ぐんま暮らし・外国人活躍推進課作成

【働くきっかけ】

東京の民間企業で働いていたF.Y.さん。以前から抱いていた「山で働く」を叶えるため、群馬県長野原町（北軽井沢）への移住を決めた。

すぐに林業に従事する仕事を探したが、当時は移住先近くでの求人が無く断念。しかし、「少しでも山や自然にかかわる仕事がしたい」との思いから地元のログハウスを作る会社で働き始める。

それでも、まだ三十代のうちにと、39才の時に、あこがれの『林業への転職』を決意した。

就職した四万林業協業組合は、中之条町にある主に国有林の伐採を請け負う素材生産業者。高性能林業機械による素材生産を積極的に進める事業体で、F.Y.さんが思い描いていた林業を実現できる会社であった。

【現在の仕事】

現在は、フォレストワーカーとして、日々現場での作業に従事する。

「雨や雪などの天気が悪い日でも作業は行わなければならない、大変なときもある。」

また、「作業は班長を中心とした複数のメンバーで行うため、お互いの作業の進めるスピードを合わせなくてはならず難しさもある。」と現場ならではの苦労を話してくれた。

【やりがい】

「林業の仕事は、チェーンソーでの伐倒作業からプロセッサ（高性能林業機械）による造材作業、集材、はい積み、搬出など様々な工程があり、作業内容を固定しないのでマンネリ化にならず退屈せず業務に向き合える。」

「伐採作業が完了し、間伐され明るくなった森林を見るのがとても楽しみであり、やりがいにも繋がっている。」と現在の仕事のやりがいについて話してくれた。

【「緑の雇用」体験談】

「緑の雇用」では、いろいろな研修項目があり、異業種から転職してきたF.Y.さんにとっては、林業全体の流れをじっくり学ぶことができ大変良い機会となったという。

研修では、「研修会場までの長距離移動や研修により仕事を長期間空けてしまうこと」など働きながら受講は大変なことも多かったという。しかし、研修には様々な林業事業体から研修生が参加（30名程度）していて、3年間の研修によって、研修生同士の交流が広がり、林業に関する情報をやりとりする貴重な機会になったと研修時を振り返って話してくれた。

緑の雇用について
P.21へ



株式会社 キノコ・輪大（わーど）



株式会社 キノコ・輪大

所在地は高崎市倉賀野町。
マイタケの生産・加工・販売を行い、海外へも輸出している。マイタケの生産量は年間約300t、県内トップクラスの規模を誇る。従業員数は22名。
生産したマイタケは、群馬県きのこ品評会で最高賞を23回受賞するなど、長年高い評価を受け続けている。

PROFILE

O. S. さん

（就業8年目）

群馬県太田市出身。高校卒業後、県内の食品会社に4年間勤務した後、技術者派遣メーカーで13年間機械技術者、開発者として勤務。自身の結婚を機に転職し、現在の株式会社きのこ・輪大へ平成30年6月に就職。
趣味はワークアウト、キャンプ、バーベキュー。

【働くきっかけ】

O.S.さんは、群馬県内の高校を卒業後、県内の食品メーカーに就職。4年間勤めたが重労働で腰を痛め、やむなく退職。

退職後は失業保険を受けながら、3か月間職業訓練校でCADなどのスキルを学んだ後、県内のエンジニアリング会社で機械技術者、開発者として13年間勤務した。

自身の結婚を機に、奥様の父親が経営する株式会社キノコ・輪大（わーど）に平成30年6月に就職した。

【現在の仕事】

①マイタケ生産業務全般

培地のオガづくり、芽出し、収穫など生産に係る業務全般を担っている。

②配達業務

JA集配送施設・直販取引先への商品運搬や畜産業者等への使用済み菌床の配達。

③設備の保守管理及び開発

機械メンテナンス全般も担当。設備の改善が必要な時は、工場長と相談しながら対応を検討している。独自で紫外線LED開発に携わり、設備改善により品質の良いマイタケの比率を高めることに成功した。

④職員採用、人員配置

雇用管理にも携わり、採用面接や従業員の適性を考慮した人員配置の実施により働きやすい職場環境づくりに努めている。

⑤営業業務

新型コロナで販売量が落ちた際には、近隣スーパーに自ら営業を行い、新たな顧客の確保を行った。

【やりがい】

「栽培しているマイタケは、栽培環境に非常に敏感であり、奥深い世界です。生産に夢中になっているうちにあっという間に4年が経ってしまいました。」

「マイタケの菌床製造機器は、とても精密です。機械調整にあたっては、頻繁に調整を必要とする箇所もあり、前職の機械技術者としてのスキルが活かされていると感じます。」

「また、生産したマイタケが取引先やお客様に喜んでいただけることが多く、仕事の励みになっています。」とマイタケ生産へのやりがいについて話してくれた。

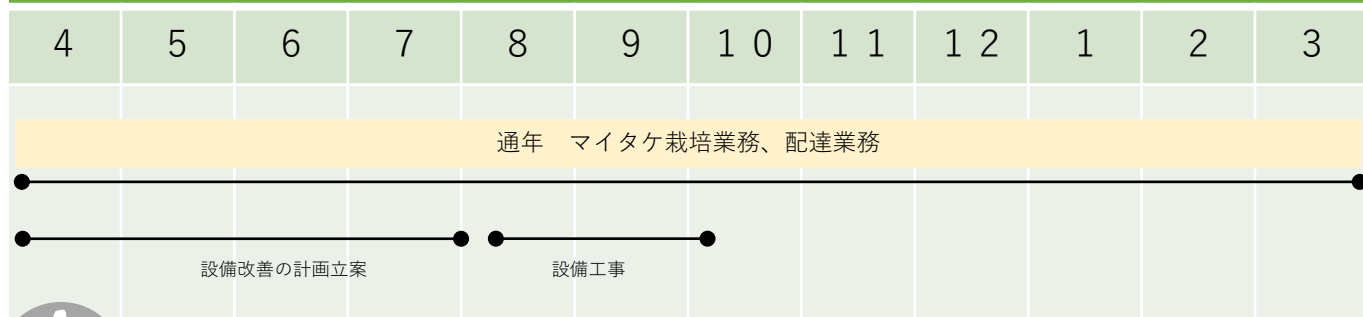
【メッセージ】

きのこ生産は、野菜生産と違い年間を通じて毎日作業がある。日々の積み重ねが成果となって自分の所に返ってくる。手を抜けば、手を抜いたなりのきのこしかできない。そのため、きのこ栽培には物事を突き詰めて考えて、丁寧に仕事ができる人（研究熱心な人）が向いていると感じる。

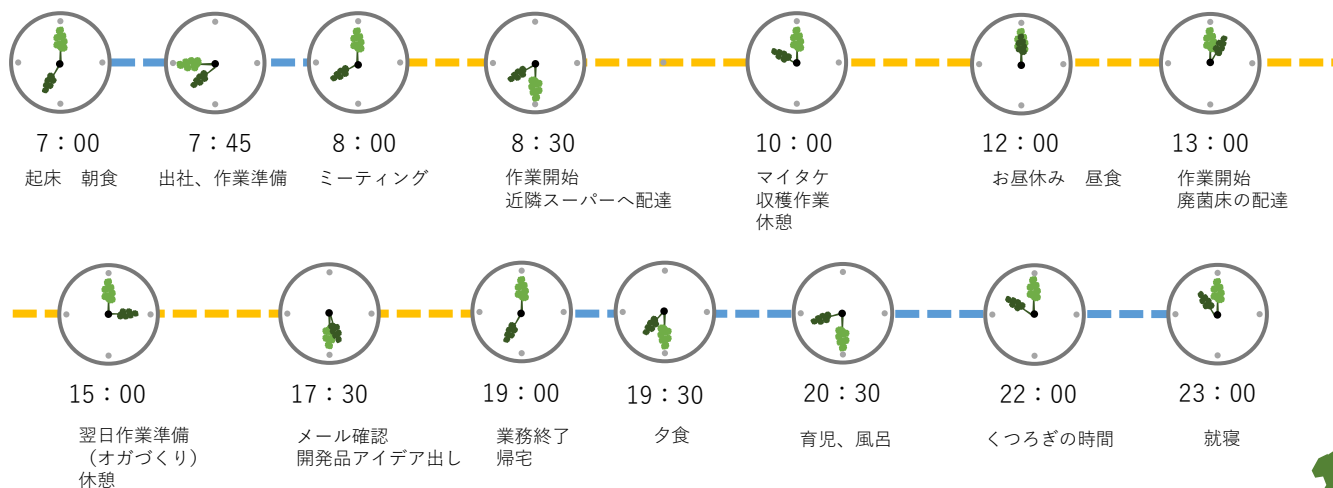
これでよいというゴールはなく、日々努力、改善が必要だと思う。



年間のスケジュール



ある日の一日のスケジュール



ぐんま森林・林業就業ナビ「森ワーク」

森ワーク（<https://moriwork.jp/>）は、群馬県内で林業への就業を希望する方のための、ポータルサイトです。
群馬県内の森林組合や林業事業体の情報、林業就業見学や体験イベントの掲載、就業相談窓口の掲載等、群馬県内の林業に関する情報をまとめたサイトです。



一般財団法人群馬県森林・緑整備基金「無料職業紹介所」



一般財団法人群馬県森林・緑整備基金は、令和7年4月に厚生労働大臣の許可（10-ム-300018）を得て、「林業」の就業のための**無料職業紹介所**を開設しました。
※無料職業紹介所：職業安定法に基づき、求職者や求人企業から手数料や報酬を徴収しない形で職業紹介を行う事業所

群馬県内で林業の仕事をした方は、ぜひご活用ください！！
<https://g-kikin.or.jp/job-agency/>



「ぐんまな日々」

「ぐんまな日々」は、群馬県への**移住**を考える人のためのライフスタイルWEBマガジン（<https://gunmagurashi.pref.gunma.jp/>）です。県外から群馬県へ移住した方々の紹介や移住を考えている方のための様々な情報が掲載されています。林業分野へ他県から移住された方々のインタビューも掲載されています。



「ツナグンマ」

群馬県地域おこし協力隊ポータルサイト「ツナグンマ」（<https://chiikiokoshi-gunma.jp/>）では、県内の**地域おこし協力隊**の活動情報及び市町村の募集情報を集約して発信しています。



「林業」で地域おこし協力隊を受け入れている県内市町村※令和7年10月現在

地方自治体が都市地域からの移住者を「地域おこし協力隊」として任命し、林業・農業・漁業への従事、地域の魅力PR、お祭りやイベントの運営など、様々な地域協力活動を行いながらその地域への定住・定着を図るものです。

「ぐんま暮らし支援センター」

ぐんま暮らし支援センターは、群馬への移住やIUターンを希望する方のための移住相談センターです。2024年移住希望地ランキングで、**群馬県は第1位**となりました。

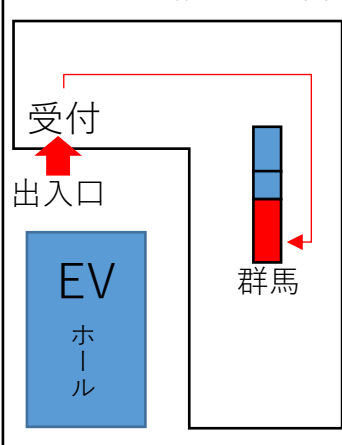
問合せ先：ぐんま暮らし支援センター
（ふるさと回帰支援センター内）
☎080-8870-2756
070-4851-1647
E-mail gunma@furusatokaiki.net

東京都千代田区有楽町2-10-1
（東京交通会館8F）

営業時間
火曜日～日曜日
（定休：月・祝及びお盆・年末年始）
時間 10:00 ～ 18:00

専属の相談員がお待ちしています。
※対面相談は事前予約制です。

東京交通会館8階案内図



群馬県林業労働力確保支援センター

林業労働力確保支援センターは、林業労働力を確保するため、林業経営体における事業の合理化や雇用管理の改善のための支援を行うほか、林業就業を望む県内外からの方々の相談窓口となる業務を行っています。

さらに、林業の仕事内容、林業へ就業するために必要な事項、県内の求人・雇用状況などの情報を提供しています。

群馬県林業労働力確保支援センターは、一般財団法人群馬県森林・緑整備基金が「林業労働力確保の促進に関する法律」に基づき、平成10年3月に群馬県からの指定を受け活動をしています。

群馬県、群馬労働局、群馬県森林組合連合会などの関係機関と連携し、林業労働力の安定的な確保を目指して、新規就業相談会、ガイダンス、県主催イベント等を通じて林業就業者の支援を行っています。

随時、行っています。
お気軽にご相談ください！

移住フェアでの相談ブース



- 林業の就業に関する相談日
月曜日～金曜日（祭日、年末年始を除く）
時間 8：30 ～ 17：00
メールや電話の問合せでも対応しています。

- オンラインでの相談も可能です。

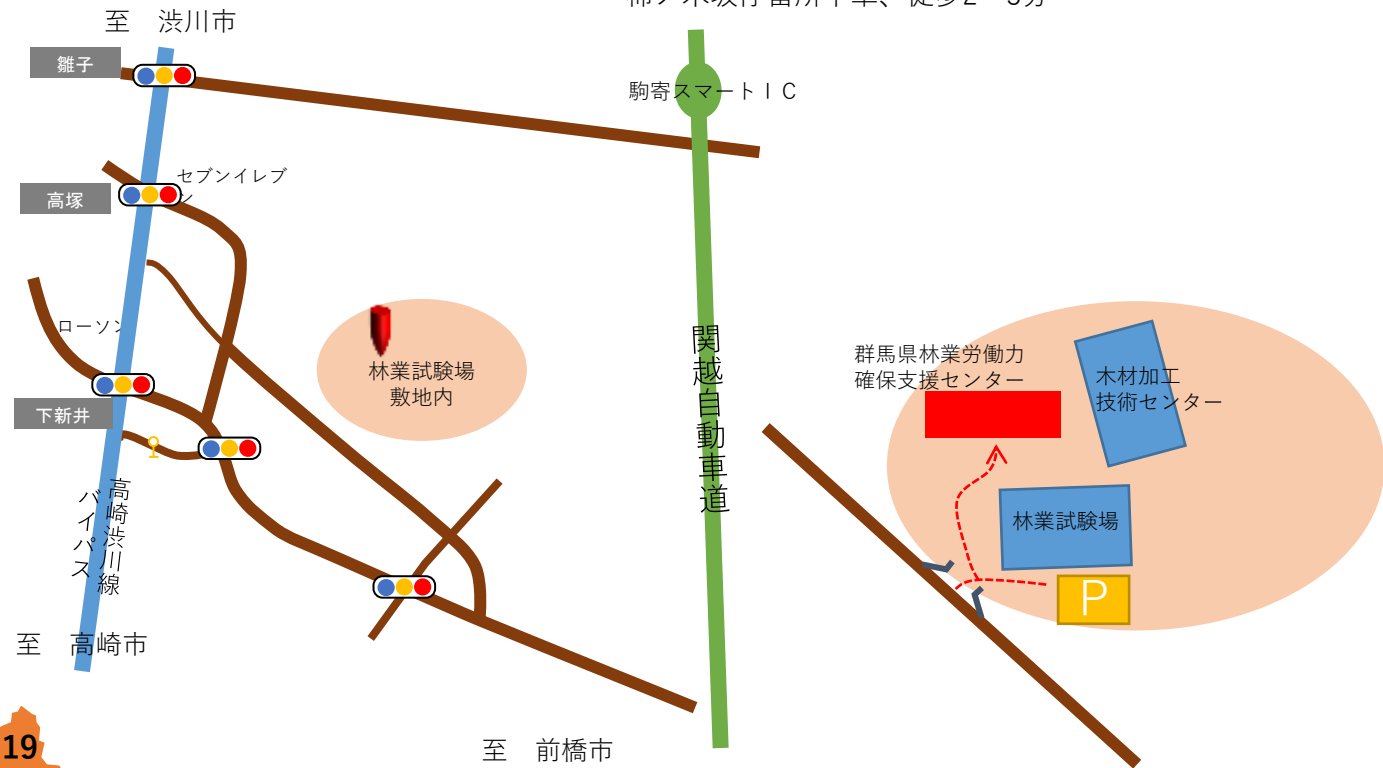
問合せ先：（一財）群馬県森林・緑整備基金
（群馬県林業労働力確保支援センター）
☎ 027-386-5901
E-mail g-fws@g-kikin.or.jp

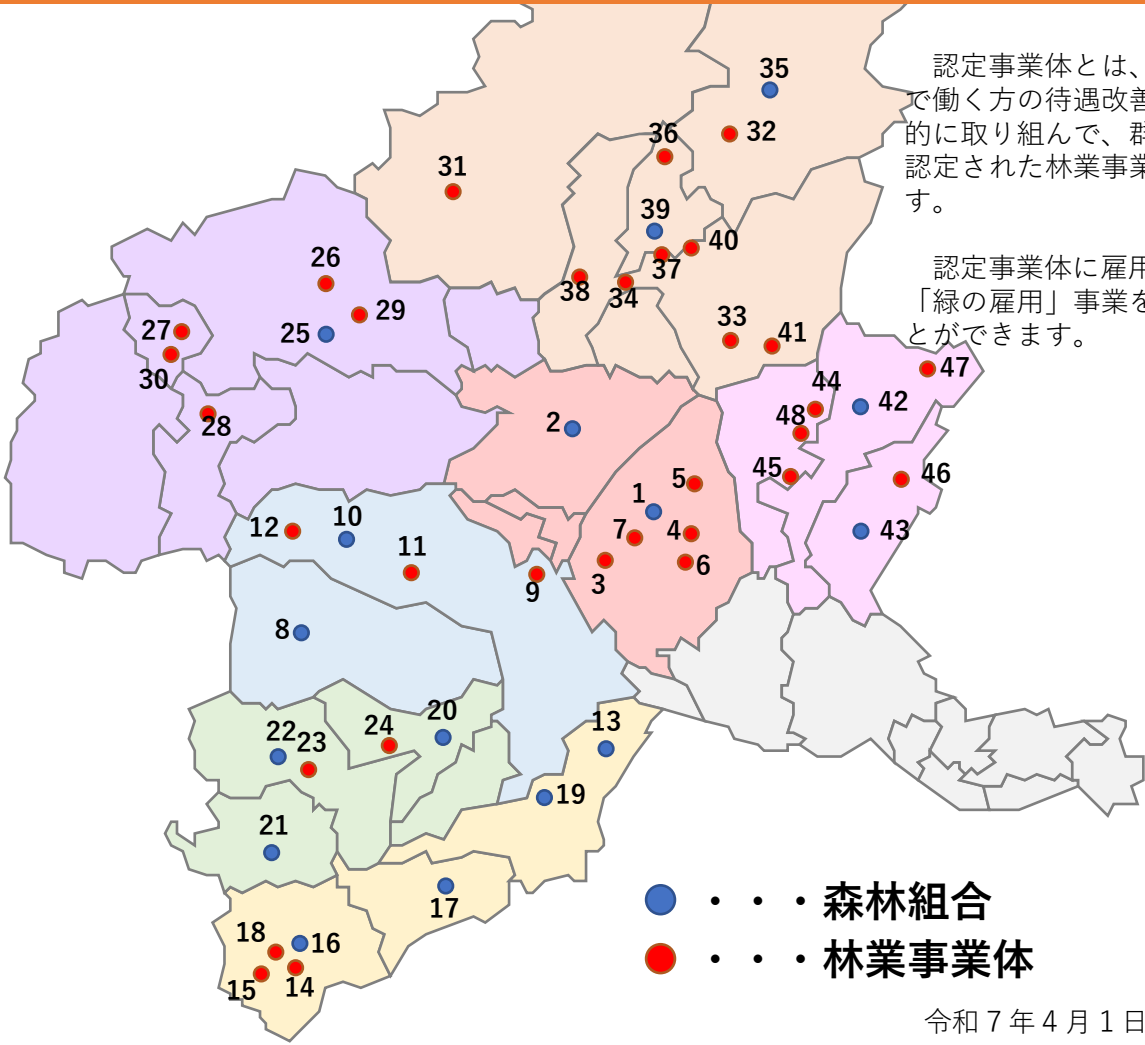
北群馬郡榛東村大字新井2935（林業試験場 別館内）

アクセス

【自動車】関越自動車道駒寄スマートIC（ETC専用）から高崎・渋川方面へ2.8km、約7分

【電 車】JR両毛線前橋駅から日本中央バス：榛東線（上野田・しんとう温泉・桃泉方面行）
柿ノ木坂停留所下車、徒歩2～3分





認定事業体とは、林業の現場で働く方の待遇改善などに計画的に取り組んで、群馬県知事に認定された林業事業体のことです。

認定事業体に雇用された方は、「緑の雇用」事業を活用することができます。

令和7年4月1日時点

	地域	事業体名		地域	事業体名		地域	事業体名
1	渋川	赤城南麓森林組合	18	藤岡	(有) 青木林業	35	利根	片品村森林組合
2	渋川	渋川広域森林組合	19	藤岡	みかぼ林業(株)	36	利根	原澤林業(株)
3	渋川	三山工業(株)	20	富岡	鎗川東部森林組合	37	利根	小菅林業(有)
4	渋川	篠原木材(株)	21	富岡	南牧村森林組合	38	利根	小田原緑化開発(株)
5	渋川	(有) 須田工業	22	富岡	下仁田町森林組合	39	利根	利根沼田森林組合
6	渋川	(株) オダワラ	23	富岡	アイカ(株)	40	利根	(有) 利根緑化
7	渋川	(株) エムズ	24	富岡	(株) 岡田木材	41	利根	横坂木材(株)
8	西部	碓氷川森林組合	25	吾妻	吾妻森林組合	42	桐生	わたらせ森林組合
9	西部	(株) 清水インダストリー	26	吾妻	高山林業(株)	43	桐生	桐生広域森林組合
10	西部	烏川流域森林組合	27	吾妻	立石木材(株)	44	桐生	楡沢森林生産企業組合
11	西部	(有) 藤井木材	28	吾妻	吾妻森林整備(株)	45	桐生	新井木材(有)
12	西部	磯村産業(株) 磯村植林所	29	吾妻	四万林業協業組合	46	桐生	(株) 前林
13	藤岡	多野東部森林組合	30	吾妻	a・pex(株)	47	桐生	(有) 共進林建
14	藤岡	(株) 吉本上野事業所	31	利根	(有) 三国林産造林	48	桐生	渡邊林業(株)
15	藤岡	(有) 檜原愛林	32	利根	花咲造林(有)			
16	藤岡	上野村森林組合	33	利根	角石林業(株)			
17	藤岡	神流川森林組合	34	利根	(株) トーリン			48事業体

「緑の雇用」

「緑の雇用」事業は、林業経営体を通じ、将来の林業を担う現場技能者を育てる国の支援事業です。林業経営体に採用された人に対する3年間の段階的な研修プログラムにより、林業の未経験者でも基礎知識・技能の習得から一人前の現場技能者として必要な力を身につけることが可能です。

さらに、就業5年以上、10年以上のリーダー向けのキャリアアップの研修プログラムも用意されています。

STEP01 就業前

就業前の相談
群馬県林業労働力確保支援センター（027-386-5901）へ相談

STEP01※ トライアル雇用

3か月間の短期就業
林業就業希望者が、仕事や職場に合っているか試すための実地研修

STEP02 1～3年目

林業作業士研修（フォレストワーカー ※FW）
新しく林業に就業した人が対象（基本知識・技能、資格の習得）
一人前の現場技能者を育成

STEP03 就業5年以上

現場管理責任者（フォレストリーダー ※FL）
作業班長候補者等が対象
現場での管理・責任を担える能力を習得

STEP04 就業10年以上

統括現場管理責任者（フォレストマネージャー ※FM）
複数の現場の統括管理者を育成



講義



測量



植付け



間伐



高性能林業機械



施設見学



「緑の雇用」総合ウェブサイト RINGYOU.NET



THE VOICE OF A Forest Worker

「緑の雇用」総合ウェブサイトでは、群馬県内で働く方のスペシャルムービーが掲載されています。

フォレストワーカー

桐生広域森林組合（鈴木さん）

フォレストワーカー

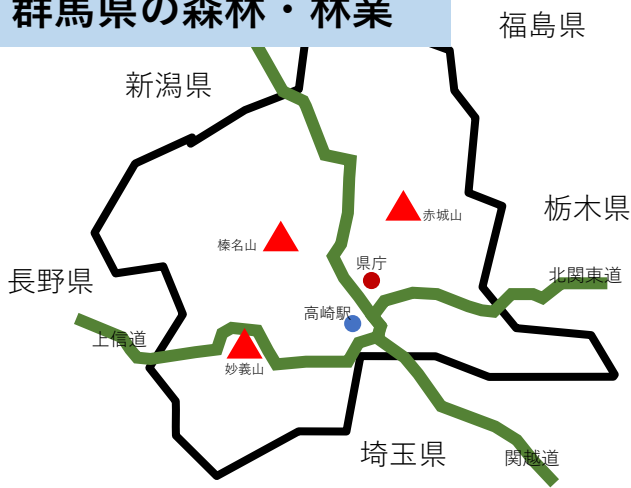
角石林業（株）（有井さん）



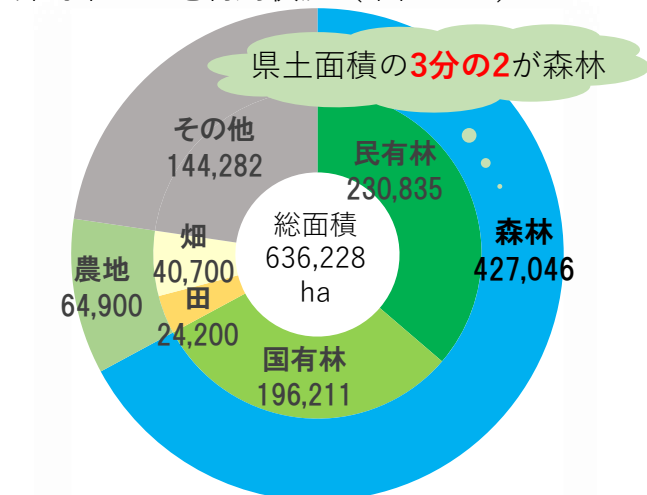
フォレストマネージャー
桐生広域森林組合（星野さん）



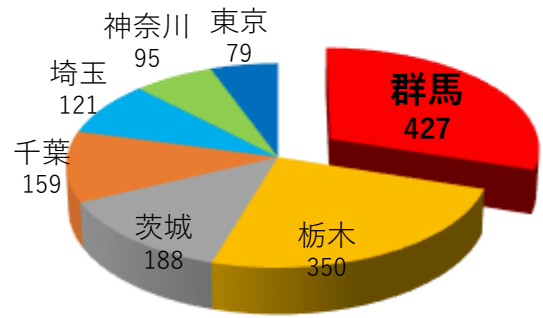
群馬県の森林・林業



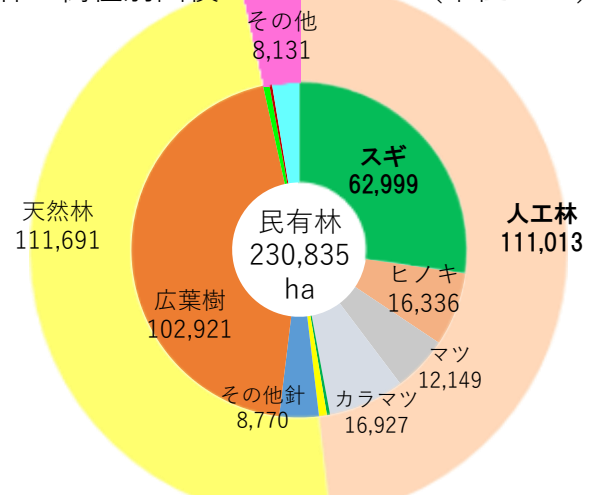
群馬県の土地利用状況（単位：ha）



出典：ぐんまの森林・林業2024年版

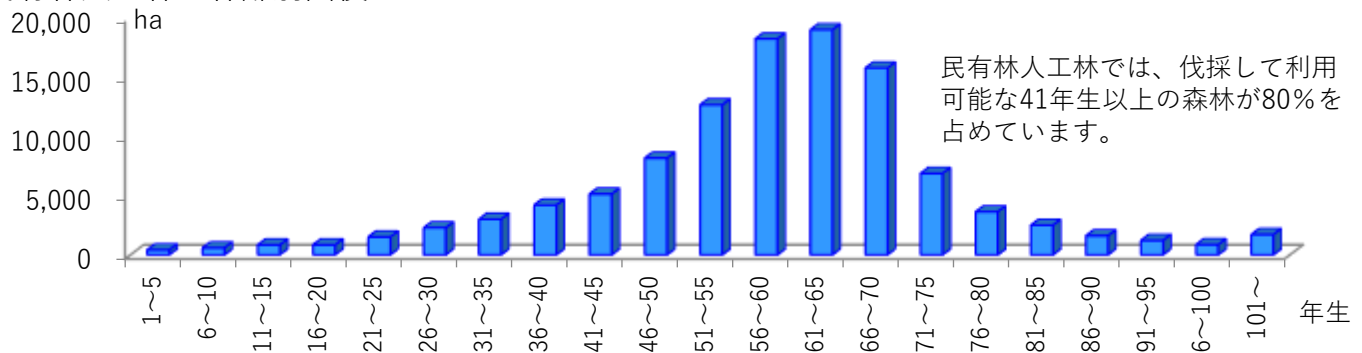
関東地方1都6県の森林面積（単位：千ha）
群馬県は関東一の森林県

民有林の樹種別面積（単位：ha）



出典：ぐんまの森林・林業2024年版

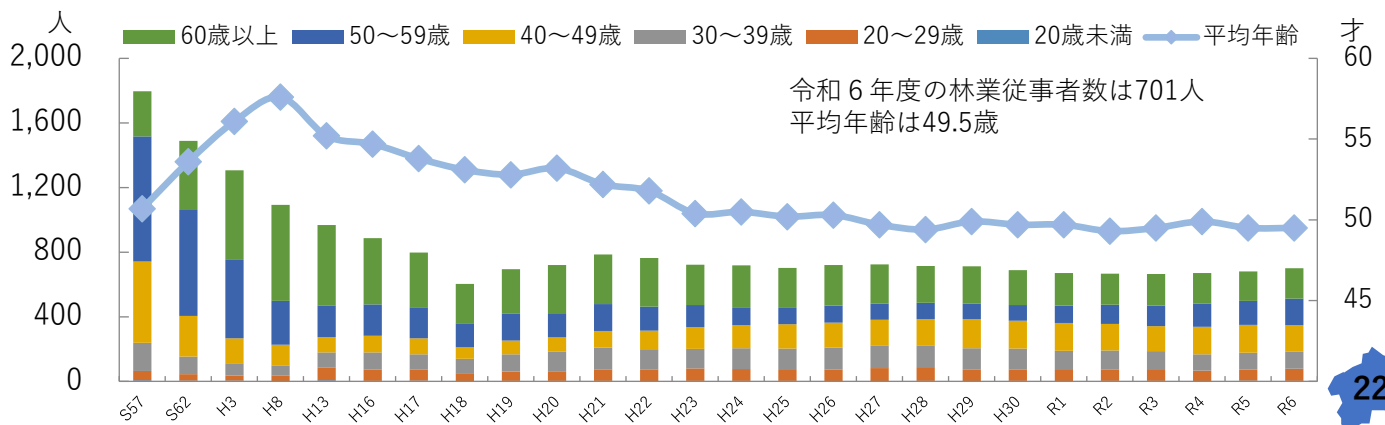
民有林人工林の林齢別面積



群馬県林業労働力の推移

出典：令和7年度林業従事者実態調査

出典：ぐんまの森林・林業2024年版



これからの群馬県（群馬県森林・林業基本計画2021-2030）

群馬県では、充実した森林資源を循環利用する持続可能な林業経営を確立し、自立した林業・木材産業による森林資源と資金が循環する自立分散型社会を実現するため、2021年度からの10年間に実施すべき取組の基本方針と具体的施策を示した「群馬県森林・林業基本計画2021-2030」を策定しました。

県産木材による自立分散型社会の実現

林業・木材産業の自立

3つの基本方針と7つの施策

方針 林業の競争力強化

産業構造改革による高コスト体質からの脱却と、木材流通・加工体制の基盤強化により、林業産出額を増加させ、産業としての自立を実現します。

木材流通・加工体制の基盤強化と需要拡大
林業システムの改革
きのこ産業等の再生

方針 森林の新たな価値の創出

森林の価値を見つめ直すことにより、社会情勢の変化や森林への多様なニーズに対応した森林の新たな価値を創出します。

新たな森林資源利用
「森林ビジネス」の創出

方針 森林の強靱化

利根川水系の「上流社会」としての責任を果たすとともに、県民の生命と財産を守るため、林業経営を通じた森林整備を推進するほか、条件不利な森林については公的管理により整備し、災害の防止や水源の涵養、地球温暖化防止等の公益的機能が高度に発揮される森林づくりを推進します。

防災・減災
災害への適応力向上



群馬県林業の将来イメージ



貧困、紛争、気候変動、感染症。人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。

日本の国土の3分の2を占める森林は、水を育む、気候変動を緩和する、山地災害を防止するなど多面的機能を持っており、この多面的機能の発揮が様々なSDGsに貢献します。

さらに、森林を利用するという行為が様々なSDGsに貢献し、そこから生み出される恵みを森林の整備・保全に還元させることで持続可能な大きな循環を作り出すことが重要です。

森林の循環利用とのSDGs

出典：森林・林業白書を一部改編

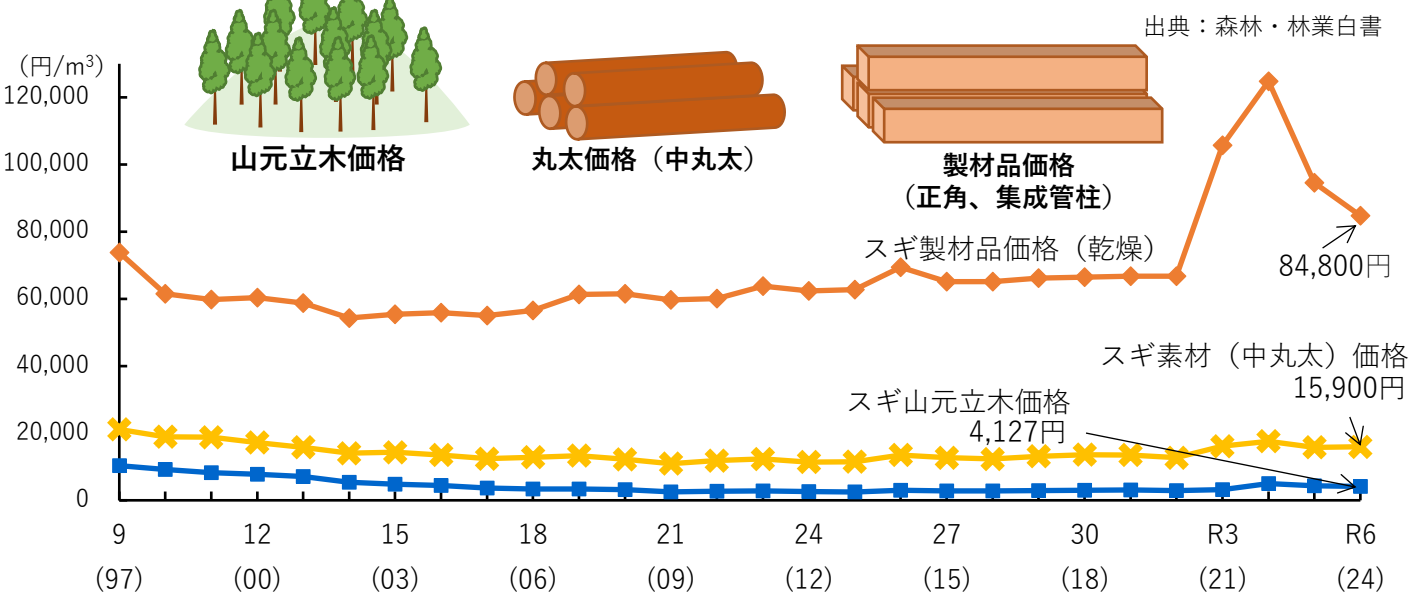


全国の立木、木材の価格について

立木や木材の値段は、1m³（立方メートル）当たりで示されます。

スギの丸太（素材）価格  は、昭和55年をピーク（39,600円/m³）に下落し、近年は、13,000円～14,000円/m³程度で推移しています。

山元立木価格（林地に立っている樹木の価格）  も素材価格と同様に昭和55年をピーク（22,707円/m³）に下落し、近年はほぼ横ばいで推移しています。



1m³のイメージ

製材品（柱材）の場合
3寸（10.5cm）
角材（柱用） 3m

 $V = 10.5\text{cm} \times 10.5\text{cm} \times 3\text{m} = 0.0331\text{m}^3/\text{本}$
約30本分

丸太（素材）の場合
径20cm 3mの丸太

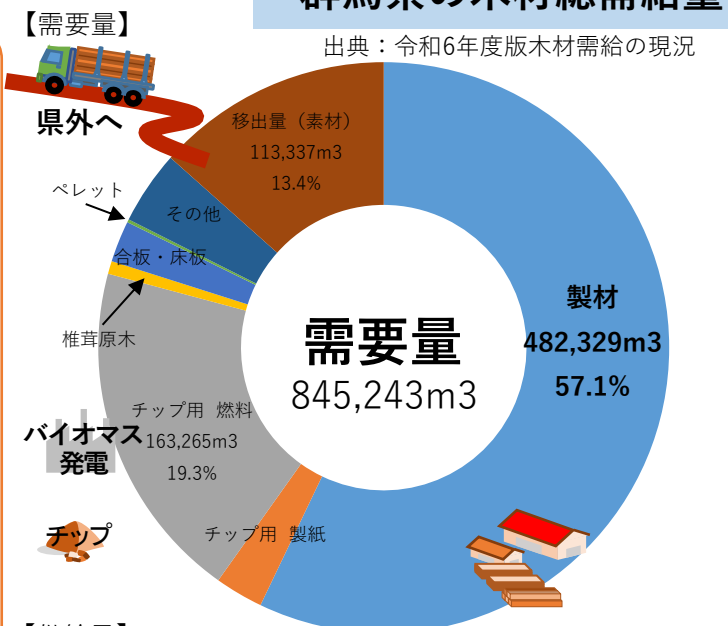
 $V = 20\text{cm} \times 20\text{cm} \times 3\text{m} = 0.12\text{m}^3/\text{本}$
約8本分

立木（立ったままの木）の場合

 $V = 0.4457\text{m}^3/\text{本}$
樹高 19m
胸高直径 24cm
2本 + 1/4本分

群馬県の木材総需給量

出典：令和6年度版木材需給の現況



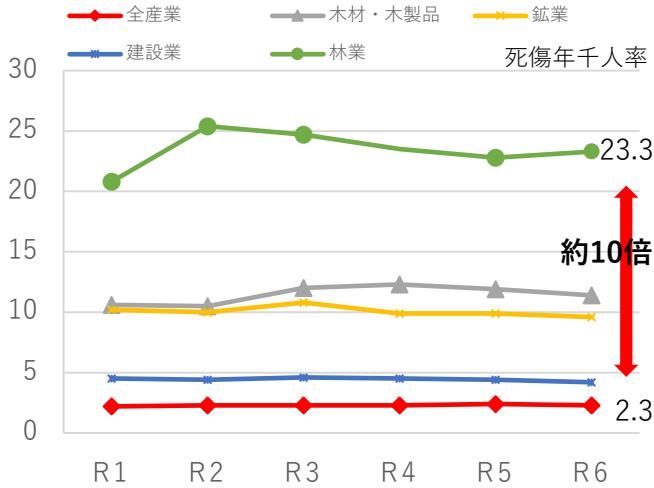
国産材 470,904 (55.7%)	県内素材 419,712 (49.7%)	針広別の内訳		民・国有林	
		針葉樹	広葉樹	民有林	国有林
		376,954	42,758	275,068	144,644
		44.6%	5.1%	32.5%	17.1%
	県外素材 51,192 (6.1%)	針広別の内訳			
		針葉樹	広葉樹		
39,593		11,598			
4.7%		1.4%			

外材 374,339 (44.3%)	産地国別の内訳			
	南洋材	米材	北洋材	その他
	5,611	98,066	52,741	217,921
	0.6%	11.6%	6.2%	25.8%
	外材の材種別の内訳			
丸太	半製品	製品		
857	10,563	362,919		
0.1%	1.2%	42.9%		

林業と労働安全について

足場の悪い傾斜地での作業や伐採木等の重量物を取り扱う林業では、労働災害の発生率が全産業の中で最も高くなっています。（全産業の約10倍）
林業は、危険度が高い仕事です。

労働者千人あたりの死傷者数の割合

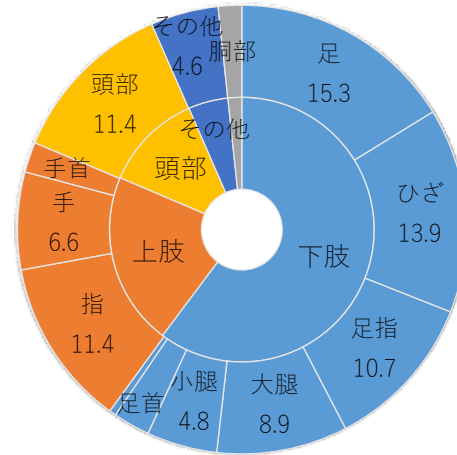


林業の労災保険の保険料率は、全産業の中で2番目に大きな率となっています。

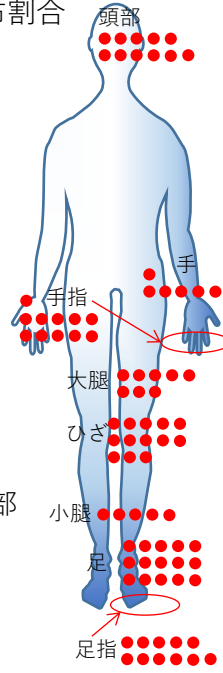
（令和6年4月1日時点）

区分	労災保険料率
林業	52/1000
木材又は木製品製造業	13/1000
農業	13/1000

チェーンソーによる被災位置の分布割合



チェーンソーによる被災の多くは脚部で起きています。
（出典：林野庁資料）



伐ったばかりの木は水分を多く含み、とても重いです。
例）樹高19m、胸高直径24cmの場合

約0.45 t

伐倒練習機

林業の死亡労働災害のうちチェーンソーを使用した伐倒時に発生した事例が全体の約7割を占めます。林業の労働災害を減少させるためには、正確な伐倒技術の習得が必要です。

これらの課題解決の一つとして、群馬県では安全にチェーンソーの伐木練習を行うための「伐倒練習機」を導入しました。



伐倒練習機は、群馬県立農林大学校の建屋の中に設置されています。天候に左右されず、繰り返し伐倒練習（基礎練習）を行うことができます。

伐倒練習機は、群馬県内の林業事業体等への貸し出しも行っています。

林業の魅力をもっとわかりやすく！

林野庁（林野図書資料館）では、より多くの方々に森林・林業・木材産業への興味を持ってもらうため、林業や木の文化を紹介する漫画やイラストを作成しています。

林業漫画「お山ん画」、日本人と木の文化を楽しく紹介する樹木漫画「リン子の絵日記」、人と木をつなぐ仕事を紹介する「人to木」、最先端の林業現場を紹介する「林業よススメ!」、再生可能エネルギー木質ペレットを紹介する「木質ペレット漫画」、〈伐って・使って・植えて・育てる〉循環する林業の仕組みやSDGsとの関係をイラストで分かりやすく紹介する「森林業循環活用図」の6つのシリーズを公開しています。

とても親しみやすく、わかりやすく林業の魅力を伝えています。

ぜひ、林野図書資料館のサイトにアクセスしてみてください！



現場漫画
林業よススメ!

発行 林野庁

林野庁ではたくさんの方々に、森林・林業・木材産業への興味を持ってもらうべく漫画やイラストを作成しています。

当漫画では普段なかなか知ることで多い日本の林業現場をご紹介します。楽しんでご覧いただき、日本の山の広がりを感じていただければ幸いです。

QRコード

↑林野庁のHPにて他の動画もご覧いただけます



高松市林業体験館
インブヤーク



女神.コウリン

守られたい
守ってあげたい

農林水産省 林野庁が贈る 漫画で学ぶ森林・林業・木材の魅力！

林業漫画「お山ん画」



普段なかなか知ることのない林業の世界をご紹介します。他にも森の四季や炭焼き、きのこ栽培等、森で働く人や、生活する動植物の魅力がぎゅっとつまった漫画です。



樹木漫画「リン子の絵日記」



山が近くになくても、公園や校庭、街路樹と身近に触れ合える木はたくさんあります。身近な30種の木を対象に、日本人と木の付き合い方(木の文化)をご紹介します漫画です。



職業漫画「人to木」
～人と木をつなぐ仕事～



住宅に家具、紙に炭。日本人は毎日様々な形で木を利用しています。そんな人と木をつなぐ「ひととき」を作る仕事をご紹介します漫画です。



全ての漫画は林野庁のホームページから無料でご覧いただけます。また、教材やイベント資料としての活用も可能です。子ども達はもちろん、大人の方にも楽しんでいただき、日本の森林・林業の応援団になっていただければ幸いです。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/event.html>
または「林野図書資料館 イベント情報」で検索



林業の現場では、多くの林業機械が導入されています。特に、街中の建設現場でよく見かける建設重機をベースに林業用のアタッチメントを付けた高性能林業機械は、今の林業には必要不可欠な存在です。

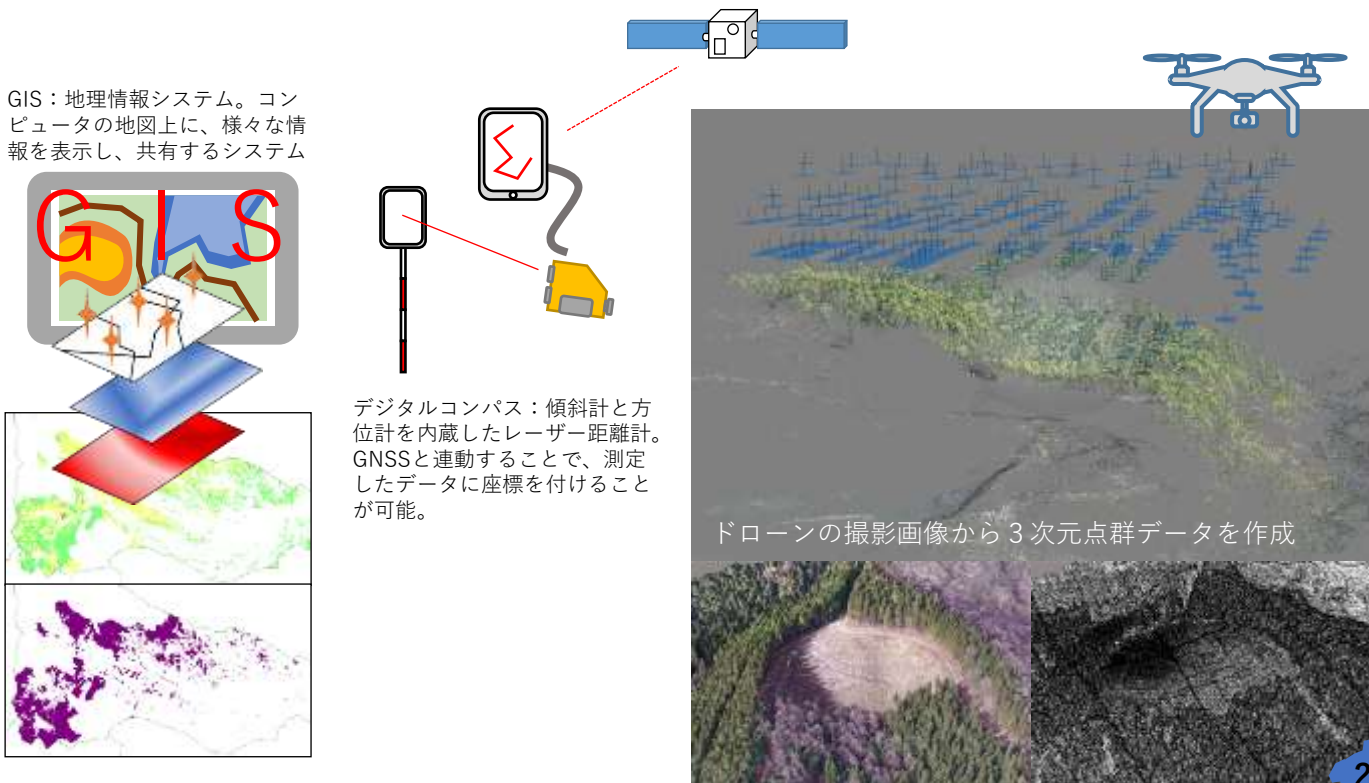
高性能林業機械の導入により、木材の生産効率が飛躍的に伸び、また伐木作業等の安全性も格段に高まりました。



スマート林業（ICTやデジタル技術）の導入

近年、林業の現場にもICT技術の導入が進んでいます。ドローンによる森林調査やレーザースキャナーによる3次元データ解析は、森林調査の省力化に大きな期待が寄せられています。

また、広大な森林の情報を管理するためには、森林GISの活用が不可欠です。GNSSとデジタルコンパスにより測定した座標データ、航空写真やドローンから撮影したデジタルオルソフォトなどの様々な情報を森林GISに取り込むことで、効率的な森林管理が可能となります。



伐木競技会（群馬から世界へ）

伐木競技会とは、5つの競技種目をチェーンソー技術、スピード、安全管理に対する意識で採点し、その総合成績で競う競技です。

これらの競技は、現在、日本各地で開催され、林業従事者の作業への安全意識を高めるとともに、現場作業に対するモチベーションの向上にもつながっています。

群馬県内では、NPO法人ロガーズ（代表今井陽樹氏）が主催するロガーズカップが開催されています。

伐木競技会には、日本一を決める大会と世界一を決める大会があります。

令和7年10月に開催された第4回日本伐木チャンピオンシップin鳥取2025では、群馬県から参加した今井選手（藤岡市「合同会社ひのきや」）が見事優勝し、日本代表として世界大会に出場します！



日本伐木チャンピオンシップ（JLC）

- ①林業技術及び安全作業意識向上
- ②林業の社会的地位の向上
- ③林業関係者・NPO等の森づくりへの積極的な参加
- ④新規林業就業者数の拡大等を目的として開催されています。

また、世界伐木チャンピオンシップ（WLC）に出場する日本代表選手を選出するため全国から広く参加者を募り、WLCに準じた、JLCルールに基づき5つの競技種目で技術を競うものです。



ヨーロッパでは、各地でチェーンソー競技会が行われています。



2019年にスイスで行われた大会、今井陽樹さんが参加した様子です。



Gunma Tree（「ぐんまの木製品」登録制度）

群馬県では、消費者の方が県産木材を使用した製品を選択しやすい環境を整備するため、令和6年1月から県産木材を使った製品及び取扱事業者を登録する「ぐんまの木製品」登録制度を開始しました。

登録製品には、「ぐんまの木製品」ロゴマークを刻印（貼付）することができます。



Gunma Tree



Gunma Tree

「ぐんまの木製品」ロゴマーク



ぐんまの木製品及び取扱事業者は県HPで公開しています。

【令和8年1月1日時点】

- ・取扱事業者：13社
- ・ぐんまの木製品：24製品



ぐんまの木育（もくいく）

群馬県は「ウッドスタート宣言」を行い、木育の推進に取り組んでいます！

「ウッドスタート」ってなに？

「ウッドスタート」とは、子育てに地元の木材を積極的に活用しようとする芸術と遊び創造協会（東京おもちゃ美術館）が日本全国で展開している「木育」の行動プランのことです。

群馬県は、全国で3番目、東日本の都道府県では初めて「ウッドスタート宣言」を行い、木育の重要性について積極的に発信しています。

県内5市町村でウッドスタート宣言を行っています

群馬県内では、上野村（2015年）、みなかみ町（2016年）、川場村（2019年）、沼田市（2020年）、嬬恋村（2024年）が宣言を行っています。各市町村は誕生祝い品として木製おもちゃを新生児にプレゼントしているほか、木育キャラバンや木育円卓会議を開催するなど、木育の推進に積極的に取り組んでいます。

また、渋川市、藤岡市、東吾妻町でも独自の取組として誕生祝い品を贈る事業を実施しています。

群馬県の役割

群馬県は、県内全ての市町村が木育に取り組むような働きかけを行うとともに、木製品を介した市町村間連携や県外自治体との連携などを支援していきます。

令和3年度からは、木育を推進する地域のリーダーを育成する「群馬県木育インストラクター養成講座」を開催。木育の考え方や必要性、木製品を暮らしの中に取り入れる意義などをリーダーを通じて皆さんに伝えていきます。



ウッドスタート宣言の宣誓書を交わす
山本知事と東京おもちゃ美術館 多田館長
(令和2年12月16日)



ウッドスタート宣言を行っている
各市町村の誕生祝い品

木材は再生可能で持続可能な資源です。群馬県では「ウッドスタート宣言」を契機に木材の有効活用による循環型社会の構築を図っていきます。

きのこ産業と林業のつながり

きのこの栽培方法には、一般的に「原木栽培」と「菌床栽培」の2種類の方法があります。どちらの方法においても、広葉樹などの森林資源が必要となります。野菜づくりに土が欠かせないように、きのこづくりには「木」が欠かせません。



原木栽培に利用する広葉樹原木



菌床栽培に利用するおがくず



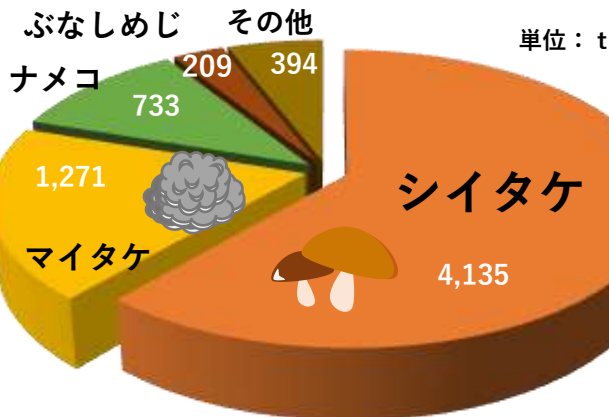
おがくず（左写真拡大）

ぐんまで生産されている多彩なきのこ

群馬県は、シイタケ・マイタケ・ナメコなど、いずれも全国上位の生産量を誇る国内有数のきのこの産地です。

シイタケは、県きのこ生産量の約6割を占めており、県内で最も生産されているきのこです。マイタケは、栽培が難しいきのこですが、空調栽培技術を駆使し周年での栽培が可能となっています。ナメコは、県西部を中心に生産されています。その他、ハナビラタケ・ムキタケなど、珍しいきのこも生産されています。

群馬県きのこ生産量（2024年）



菌床シイタケ



原木シイタケ

出典：特用林産物生産統計調査2024



ハナビラタケ



ナメコ



マイタケ



ムキタケ

森林・林業の就業についての相談窓口

群馬県林業労働力確保支援センター

新たに群馬県内で林業への就業を希望する方を支援します。

○林業の就業に関する相談日

月曜日～金曜日（祭日、年末年始を除く）

時間 8:30 ～ 17:00

問合せ先：（一財）群馬県森林・緑整備基金（群馬県林業労働力確保支援センター）

☎027-386-5901 住所：北群馬郡榛東村大字新井2935

新たな学びの場

群馬県立農林大学校

農林大学校は、2年制の専修学校です。林業団体や林業関連産業の従事者を育成する農林業ビジネス学科（森林コース）では、理論と実践を有機的に結びつけたカリキュラムにより、林業を体系的に学ぶことができます。

○入学試験等について

問合せ先：群馬県立農林大学校 教務係

☎027-371-3244 住所：高崎市箕郷町西明屋1005

林業に必要な資格（安全教育等）

林業・木材製造業労働災害防止協会 群馬県支部

林業・木材製造業労働災害防止協会群馬県支部では、林業従事者として必要となるチェーンソーの特別教育や刈払機の安全衛生教育を受講することができます。

○特別教育等の申し込みについて

問合せ先：林業・木材製造業労働災害防止協会 群馬県支部

☎027-266-8220 住所：前橋市西善町524-1

群馬県内の木材業者や製材業者についての相談窓口

一般社団法人 群馬県木材組合連合会

（一社）群馬県木材組合連合会は、群馬県内の木材業者、製材業者による一般社団法人です。

問合せ先：一般社団法人 群馬県木材組合連合会

☎027-266-8220 住所：前橋市西善町524-1

群馬県による就業支援

【新規就業希望者向けの支援】

ぐんま森林・林業スタートアップ研修

○群馬県による就業支援等の問合せ

問合せ先：

群馬県 環境森林部 森林局

林業振興課 林業担い手対策室 生産力強化係

☎027-226-3235

前橋市大手町1-1-1 16階北フロア

○林業振興課公式Instagram



GUNMA_FORESTRY_PROMOTION



ぐんま森林・林業就業ナビ

ホ
森木 ワーク